

平成25年度

守谷市行政評価外部評価報告書

平成25年10月

守谷市行政改革推進委員会

目 次

1	外部評価制度の目的	1
2	今年度の外部評価	1
3	評価結果	2
4	総合的意見	12

< 参考資料 >

1	施策一覧表及び今年度選定施策	13
2	委員会開催経過	13
3	委員名簿	14

1 外部評価制度の目的

平成18年度から導入した外部評価制度の目的は、行政が自ら行う内部評価に加えて、一般市民が外部評価（評価及び提言）を行うことにより、行政に市民目線の反映を求めるとともに、行政の透明性、公平性を向上させるものである。

2 今年度の外部評価

(1) 実施主体

今年度の外部評価は、行政改革推進委員が実施した。

これは、平成22年度に実施した外部評価において、行政改革推進事業は、業務が類似していることから、外部評価と統合できるとの提言がなされ、市が行政改革推進委員会において外部評価を実施することに決定したためである。

(2) 評価対象

評価対象を施策単位とした。

これまでの外部評価では、事務事業を単独で評価し、事務事業の進め方やコストについて検討することはできたが、その事務事業が、行政施策の中でどのような位置付けで機能するか、また、その重要性が示されていなかったため、事務事業の必要性に立ち返っての評価ができなかった。そのため、平成24年度に改善方策等について検討し、事務事業を束ねる施策を単位に評価を行うこととした。

(3) 対象施策の選定（参考資料1参照）

第二次守谷市総合計画（平成24年3月策定）で設定した27の施策を3年で評価することを念頭に、初年度として8施策を選定した。

今年度対象とした平成24年度実施施策は、「防災対策の推進」、「交通安全の推進」、「防犯対策の推進」、「子育て支援の充実」、「地域福祉の推進」、「学校教育の充実」、「地域コミュニティの充実」、「協働によるまちづくりの推進」である。

(4) 評価の進め方

評価に当たっては、内部評価結果（施策評価シート、基本事業評価シート、事務事業評価表）、市民アンケート、各種統計データ等を確認し、不明な点や疑問点などについては主管課長等からヒアリングを行い、施策ごとに委員の中から座長を選任し、座長は、委員の個々の評価を踏まえて評価結果をまとめた。

(5) 評価方法

評価に当たっては、統一性を図るため、次の3つの視点で評価を行い、意見・提言を加えた。

① 施策指標の達成度

- 評価順位・・・A：予定以上に成果があがっている
- B：予定の通り前進している

- C : 計画より遅れている
- D : 成果がほとんどあがっていない

②今年度の進捗（取組み）と課題認識の妥当性

- 評価順位・・・
- A : 妥当である
 - B : 概ね妥当である
 - C : 一部妥当性を欠いている
 - D : 妥当性がない

③今後の方向性

- 評価順位・・・
- A : 妥当である
 - B : 概ね妥当である
 - C : 一部妥当性を欠いている
 - D : 妥当性がない

3 評価結果

外部評価の対象とした8施策の評価結果は、次のとおりである。

施策達成度については、B「予定の通り前進している」が7施策、C「計画より遅れている」が1施策とした。今年度の進捗（取組み）と課題認識の妥当性については、8施策をB「概ね妥当である」とした。今後の方向性についても、B「概ね妥当である」が8施策とした。

なお、各評価シートの最後に記載されている意見・提言には、4段階の評価だけでは指摘できない重要な内容を盛り込んだ。

以下、当委員会で決定した行政評価外部評価シートを記載する。

施策名	防災対策の推進		政策名	安全・安心に暮らせるまち
主管課	交通防災課	関係課	財政課，社会福祉課，介護福祉課，都市計画課，建設課	
施策の達成度	総合評価結果			
	A:予定以上に成果があがっている		B:予定の通り前進している	
	C:計画より遅れている		D:成果がほとんどあがっていない	
	<コメント（判断理由など）> ・基本事業の市民の防災意識の向上，発災対応型訓練の導入等により災害面で安全に暮らせると思う市民の割合が上向きになっている。 ・市が目標とした指標は概ねクリアしており，予定通り前進していると判断される。			
委員の評価結果（参考）				
A：0人， B：7人， C：1人， D：0人				

今年度の進捗(取組み)と課題認識の妥当性	総合評価結果
	A:妥当である B:概ね妥当である C:一部妥当性を欠いている D:妥当性がない
	<コメント(判断理由など)> ・基本事業の進捗状況を踏まえ、次年度以降の課題を掲げ意欲的に取り組む姿勢が感じられ、更なる事業進捗が期待できる。 ・市民の防災意識が向上していることにより、「自分の身は自分で守る」意識が醸成されつつあり、今後期待できる。
	委員の評価結果(参考) A: 1人, B: 6人, C: 1人, D: 0人
今後の方向性	総合評価結果
	A:妥当である B:概ね妥当である C:一部妥当性を欠いている D:妥当性がない
	<コメント(判断理由など)> ・事務事業の前倒し実施により、目標値の一部は既に達成されており、今後、防災体制の充実が期待できる。 ・市民をできるだけ巻き込む方向性は間違っていないことから、概ね妥当と判断する。
	委員の評価結果(参考) A: 0人, B: 6人, C: 2人, D: 0人
当該施策に関わる当委員会の意見・提言	<ul style="list-style-type: none"> ・「安全・安心なまち」は、住みよい守谷市だと評価を得る施策の要諦であり、「安全、安心だから守谷に住みたい」となるよう高い意識を持って取り組んでいただきたい。 ・防災の日には、自治会はもとより、災害時における高校生、大学生などのボランティア予備軍の形成も検討してはどうか、市民総ぐるみを考えていただきたい。 ・要援護者の避難支援対策の向上、災害時の医療・救護・搬送対策、対応施策の推進を期待する。 ・樋管操作員の洪水発生時における避難基準を見直し、安全確保に努める。

施策名	交通安全の推進		政策名	安全・安心に暮らせるまち
主管課	交通防災課	関係課	建設課, 学校教育課	
施策の達成度	総合評価結果			
	A:予定以上に成果があがっている B:予定の通り前進している			
	C:計画より遅れている D:成果がほとんどあがっていない			
	<コメント (判断理由など) >			
	交通事故発生件数も減少しており, 市, 交通安全協会, 交通指導隊等各種団体の啓発事業の成果が見られる。			
今年度の進捗(取組み)と課題認識の妥当性	総合評価結果			
	A:妥当である B:概ね妥当である			
	C:一部妥当性を欠いている D:妥当性がない			
	<コメント (判断理由など) >			
	各指標が向上している。			
今後の方向性	総合評価結果			
	A:妥当である B:概ね妥当である			
	C:一部妥当性を欠いている D:妥当性がない			
	<コメント (判断理由など) >			
	今後も交通安全教室・指導, キャンペーンが継続され, 成果の向上が期待できる。			
当該施策に関わる当委員会の意見・提言	委員の評価結果 (参考)			
	A: 0人, B: 6人, C: 2人, D: 0人			
	<ul style="list-style-type: none"> 生活道路におけるゾーン30の拡大やガードレールの設置が必要と思われる。 小中学校児童生徒の自転車マナーの向上, 高齢者の自動車運転の指導等, 交通安全教室の開催を通して, 交通安全協会, 警察と連携していくことが望ましいと考える。 			

施策名	防犯対策の推進		政策名	安全・安心に暮らせるまち
主管課	交通防災課	関係課	経済課, 学校教育課, 生涯学習課	
施策の達成度	総合評価結果			
	A:予定以上に成果があがっている B:予定の通り前進している C:計画より遅れている D:成果がほとんどあがっていない			
	<コメント (判断理由など) > ・ 刑法犯認知件数が減少している。 ・ 防犯パトロール, 防犯連絡員による防犯活動, 参加団体の増加など, 前進が見られる。 ・ 防犯灯, 街路灯のLED化の取組みがなされている。			
	委員の評価結果 (参考) A: 0人, B: 7人, C: 1人, D: 0人			
今年度の進捗(取組み)と課題認識の妥当性	総合評価結果			
	A:妥当である B:概ね妥当である C:一部妥当性を欠いている D:妥当性がない			
	<コメント (判断理由など) > 消費者トラブルが減少しており, 進捗は概ね妥当といえる。			
	委員の評価結果 (参考) A: 0人, B: 7人, C: 1人, D: 0人			
今後の方向性	総合評価結果			
	A:妥当である B:概ね妥当である C:一部妥当性を欠いている D:妥当性がない			
	<コメント (判断理由など) > ・ 防犯カメラの設置が計画されている。 ・ 地域防災と併せ, 自治会との協働が期待できる。			
	委員の評価結果 (参考) A: 2人, B: 5人, C: 1人, D: 0人			
当該施策に関わる当委員会の意見・提言	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯対策全体の目標設定を上げる(県平均以上)必要がある。 ・ 防犯パトロールや防犯連絡員を増加させるための誘因策(例:市長, 警察署長からの感謝状の贈呈など)を検討していただきたい。 ・ 防犯カメラの設置をPRして, 安全安心な守谷市であることを広めること。 ・ 守谷市内において侵入盗が目立っていることから, 協働の力で防犯を推進していただきたい。 ・ 消費者の安全安心の対策に課題がある。消費者対策に優先課題(例:詐欺対策)を設定して取り組む必要がある。 ・ 児童・生徒のネットトラブルや高齢者に対する振り込め詐欺が増加傾向にあり, 予防対策をとるとともに相談の受け皿である消費生活センタ 			

	<p>一の体制強化が望まれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者安全対策の専門的対応ができるように警察，金融機関との連携強化，専門性の高い職員を養成していただきたい。
--	---

施策名	学校教育の充実		政策名	こころ豊かに暮らせるまち
主管課	学校教育課	関係課	指導室，学校給食センター，生涯学習課	
施策の達成度	総合評価結果			
	A:予定以上に成果があがっている		B:予定の通り前進している	
	C:計画より遅れている		D:成果がほとんどあがっていない	
	<コメント（判断理由など）>			
	<p>学校が楽しいと思う児童生徒の割合が低下しており，この面では進捗はかんばしくなく，アンケート調査時期の変更を考慮しても，懸念が残る。しかし，学力や体力の向上，設備や環境の整備など，各基本事業の目標値をほとんどの事業で達成している点が評価できる。</p>			
委員の評価結果（参考）				
A：2人， B：4人， C：2人， D：0人				
今年度の進捗（取組み）と課題認識の妥当性	総合評価結果			
	A:妥当である		B:概ね妥当である	
	C:一部妥当性を欠いている		D:妥当性がない	
	<コメント（判断理由など）>			
	<p>成果指標としているアンケート調査の手法については，更に検証すべき課題があると考え。一方で，適切な人員配置や，学校設備の充実が図られており，これらが今後も継続するものと期待できる。</p>			
委員の評価結果（参考）				
A：2人， B：4人， C：2人， D：0人				
今後の方向性	総合評価結果			
	A:妥当である		B:概ね妥当である	
	C:一部妥当性を欠いている		D:妥当性がない	
	<コメント（判断理由など）>			
	<p>教職員の資質向上に関する方策があまり明確でないのが残念である。しかし，保幼小中高一貫教育の推進や，国際相互理解を推進する教育及び教育設備，教育環境の整備などに期待できる。</p>			
委員の評価結果（参考）				
A：2人， B：4人 C：2人， D：0人				

当該施策に関わる当委員会の意見・提言	<ul style="list-style-type: none">・保護者，学校，地域等の教育に関わる大勢の人が連携しての開かれた学校づくりに努めて欲しい。・幼少時の頃からの発表力，発言力を身に付ける教育を推進願いたい。・IT 教育を進めるとともに，一方でネットトラブルの怖さを子供達に十分に認識させていただきたい。・不登校児童・生徒のフォローアップに力を入れていただきたい。・教職員の資質向上や，教育内容の充実も継続的に実施していただきたい。
--------------------	---

施策名	地域福祉の推進		政策名	健やかに暮らせるまち
主管課	社会福祉課	関係課	市民協働推進課, 児童福祉課, 保健センター, 介護福祉課, 生涯学習課	
施策の達成度	総合評価結果			
	A:予定以上に成果があがっている B:予定の通り前進している			
	C:計画より遅れている D:成果がほとんどあがっていない			
	<コメント (判断理由など) >			
	地域福祉活動で, お互い支えあうことができていると思う市民の割合が低下している。また, 社会福祉協議会に対する評価の低下なども見られ, 重要な指標がかんばしくない。			
委員の評価結果 (参考)				
A: 1人, B: 2人, C: 5人, D: 0人				
今年度の進捗(取組み)と課題認識の妥当性	総合評価結果			
	A:妥当である B:概ね妥当である			
	C:一部妥当性を欠いている D:妥当性がない			
	<コメント (判断理由など) >			
	・地域福祉に関する基本事業は, 概ね予定通り実施されており, 各事業の成果指標においても維持・向上という結果となっている。 ・今年度から開始される地域福祉活動の取組みと当事業への市職員の参加などによる地域福祉の向上が期待できる。			
委員の評価結果 (参考)				
A: 1人, B: 4人, C: 3人, D: 0人				
今後の方向性	総合評価結果			
	A:妥当である B:概ね妥当である			
	C:一部妥当性を欠いている D:妥当性がない			
	<コメント (判断理由など) >			
	・市職員の地域福祉活動への参加などは, 福祉の推進に止まらず, 市職員の資質向上など長期的な効果が期待できる。 ・地域福祉活動計画の実施に向け, 今後, 活動資金の支援を着実に進めること等により, 実行委員会の活動が期待できる。			
委員の評価結果 (参考)				
A: 2人, B: 3人, C: 3人, D: 0人				
当該施策に関わる当委員会の意見・提言	<p>・市では現在, 社会福祉協議会に対し市の業務の一部を委託しているが, さらに, 行政事務の効率化の観点から市の地域福祉に関する事務事業を民間事業者, 特に社会福祉協議会に対し, 委託可能な業務を検討していただきたい。</p> <p>・地域福祉の推進にあっては, 行政と市民の連携のほか, 行政と社会福祉協議会との連携強化が一層重要である。</p>			

施策名	子育て支援の充実		政策名	健やかに暮らせるまち
主管課	児童福祉課	関係課	生涯学習課	
施策の達成度	総合評価結果			
	A:予定以上に成果があがっている B:予定の通り前進している C:計画より遅れている D:成果がほとんどあがっていない			
	<コメント (判断理由など) > 保育所, 児童クラブの開設が計画的に進められており, 安心して子育てができるまちだと思いう子育て世帯の割合が上昇している。また, 除染作業も順調に進められていることが評価できる。			
	委員の評価結果 (参考) A: 2人, B: 6人, C: 0人, D: 0人			
今年度の進捗 (取組み) と課題認識の妥当性	総合評価結果			
	A:妥当である B:概ね妥当である C:一部妥当性を欠いている D:妥当性がない			
	<コメント (判断理由など) > 認可保育施設が2箇所増え, 待機児童がもう少しで解消できること, また, 公立保育施設のあり方を今年度中に検討することになっており妥当と判断できる。			
	委員の評価結果 (参考) A: 3人, B: 3人, C: 2人, D: 0人			
今後の方向性	総合評価結果			
	A:妥当である B:概ね妥当である C:一部妥当性を欠いている D:妥当性がない			
	<コメント (判断理由など) > 児童クラブや子育て支援センターが児童の安全な場所として機能しており, 市民の要望を正面から受けとめ対処しようとしている点が評価できる。			
	委員の評価結果 (参考) A: 2人, B: 4人, C: 2人, D: 0人			
当該施策に関わる当委員会の意見・提言	<ul style="list-style-type: none"> ・子育ての悩み・不安は、多様性がありハード・ソフト両面からの支援をしていただきたい。特に、不安を抱えている保護者が3分の1いることから、その不安を払拭するため、地域全体での取組みを推進していただきたい。 ・障がいのある子どもの保育施設や母子、父子家庭の子どもたちの保育時間の延長等を検討願いたい。 ・児童クラブは、既存施設（運動場）や人材（パート職員、ボランティア）を有効活用するという点においてコストパフォーマンス（費用対効果）が良く、子育て支援に有益なシステムである。このシステムは、他 			

の事業においても積極的に導入すべきである。

施策名	地域コミュニティの充実		政策名	みんなで築くまち
主管課	市民協働推進課	関係課	社会福祉課, 児童福祉課	
施策の達成度	総合評価結果			
	A:予定以上に成果があがっている		B:予定の通り前進している	
	C:計画より遅れている		D:成果がほとんどあがっていない	
	<コメント (判断理由など) > 自治会への加入率が低下しているものの, 地域コミュニティの必要性への意識が高いこと, 自治会当たりの年間行事数が増加していること, 各種行事への市民参加が増加している。			
委員の評価結果 (参考)				
A: 0人, B: 5人, C: 3人, D: 0人				
今年度の進捗(取組み)と課題認識の妥当性	総合評価結果			
	A:妥当である		B:概ね妥当である	
	C:一部妥当性を欠いている		D:妥当性がない	
	<コメント (判断理由など) > 自治会への加入率の低下を重要課題と位置づけ, 市民大学の開校, コミュニティサロンの開設, 市職員の自治会支援活動制度の実施など意欲的に取り組んでいる。			
委員の評価結果 (参考)				
A: 0人, B: 5人, C: 3人, D: 0人				
今後の方向性	総合評価結果			
	A:妥当である		B:概ね妥当である	
	C:一部妥当性を欠いている		D:妥当性がない	
	<コメント (判断理由など) > 高齢化が進む中で自治会活動の活性化の必要性を十分認識しており, 他の施策との整合性も含めて今後への姿勢と取組みによる効果もこれから期待できる。			
委員の評価結果 (参考)				
A: 0人, B: 5人, C: 3人, D: 0人				
当該施策に関わる当委員会の意見・提言	<ul style="list-style-type: none"> ・今後, 「自治会のあり方」, 例えば自治会の再編, 役員の選出方法, 高齢者世帯の自治会参加の方法等について見直しを積極的に提案していただきたい。 ・市全体にあいさつ・声かけ運動を推進する。 			

施策名	協働によるまちづくりの推進	政策名	みんなで築くまち
主管課	市民協働推進課	関係課	社会福祉課
施策の達成度	総合評価結果		
	A:予定以上に成果があがっている <input checked="" type="checkbox"/> B:予定の通り前進している		
	C:計画より遅れている D:成果がほとんどあがっていない		
	<コメント（判断理由など）> 市民と市民活動団体が、協働によるまちづくりに取り組む意識が向上していることと、市民活動団体数と参加人数が増加していることは評価できる。		
委員の評価結果（参考）			
A：0人， B：8人， C：0人， D：0人			
今年度の進捗（取組み）と課題認識の妥当性	総合評価結果		
	A:妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B:概ね妥当である		
	C:一部妥当性を欠いている D:妥当性がない		
	<コメント（判断理由など）> 市民大学への取組みは評価できるが、出口戦略が具体化していないのは、手順としては遅い。		
委員の評価結果（参考）			
A：0人， B：6人， C：2人， D：0人			
今後の方向性	総合評価結果		
	A:妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B:概ね妥当である		
	C:一部妥当性を欠いている D:妥当性がない		
	<コメント（判断理由など）> 市民活動支援センター、市民活動団体及び社会福祉協議会などのPRが実施されているが、情報提供にもう一段の工夫が必要である。		
委員の評価結果（参考）			
A：1人， B：4人， C：3人， D：0人			
当該施策に関わる当委員会の意見・提言	「協働によるまちづくり」が守谷市の‘売り’つまり先進都市となるよう期待する。それには、組織づくり（行政と市民＝自治会やNPO、社協と民間＝企業、またはこれら三位一体のコラボづくり）、人づくり（市民大学卒業生のリーダー育成戦略、資金援助、協働のまちづくり基金への奨励策）、環境づくり（市民提案型協働事業発表会のPRなど）を推進していただきたい。		

4 総合的意見

意見1：コストパフォーマンス（費用対効果）の改善という視点の強化

今回の外部評価において、残念ながら各評価シートから「コストパフォーマンスの改善に寄与したのか」という視点があまり読み取れない。民間企業では、コストパフォーマンスの改善は最重要課題となっており、行政サービスを提供する市役所も当然にこの視点を忘れてはならない。しかしながら、市民は、単純にコストのみを下げ、行政サービスを低下させることを望んでいない。現在の社会は、急速に進歩し、多様化し、変化しており、社会を広く見渡せば価格の急落や劇的な機能拡大などの進化が存在している。また、コストパフォーマンス改善に役立つアイデア、ノウハウも日々発生している。これらを総合的に検討すれば、様々な事業に多くの進化、改善、選択肢が現れるはずである。

このように、一歩進んだ視点から事業を見直すとともに事業計画に積極的に組み入れていただきたい。

意見2：外部評価の視点（成果指標項目）をもっと多くしていただきたい。

例えば、施策名「学校教育の充実」の成果指標は、「学校が楽しいと思う児童（生徒）の割合」及び「子どもたちが国際化や情報化などの社会の変化に対応した行動ができていると感じている市民の割合」の2項目のアンケート結果である。

「学校が楽しいと思う児童（生徒）の割合は、目標値に比べ低下しているが、アンケート調査時期の変更が影響しているとの主管課コメントがあり、アンケートの連続性に疑義が残った。

また、「子どもたちが国際化や情報化などの社会の変化に対応した行動ができていると感じている市民の割合」のアンケートは、回答する市民が客観的な理由及び根拠を示すことが困難であり、主観による回答結果である。

この連続性に疑義が残るアンケート及び主観的で感覚的なアンケートの2項目のみが「学校教育の充実」の成果指標である。施策の成果を表す指標としては薄弱である。

他の施策の成果指標についても、現在の項目だけで外部評価を行うには頼りないと思われる。

指標項目を多くし、極力客観的な数値を指標として採用することが望まれる。

<参考資料>

1 施策一覧表及び今年度選定施策

政策名	施策名	今年度選定施策
安全・安心に暮らせるまち	生活環境の保全	
	循環型社会の形成	
	防災対策の推進	○
	消防・救急の充実	
	交通安全の推進	○
	防犯対策の推進	○
健やかに暮らせるまち	子育て支援の充実	○
	高齢者福祉の推進	
	障がい者（児）福祉の推進	
	健康づくりの推進	
	地域福祉の推進	○
	社会保障の健全運営	
こころ豊かに暮らせるまち	学校教育の充実	○
	生涯学習の推進	
	人権の尊重	
快適に暮らせるまち	調和のとれた市域の形成	
	緑を生かした景観の形成	
	道路網・公共交通体系の整備	
	上下水道事業の安定持続	
活力にあふれるまち	農業の支援	
	商工業の活性化	
	集客資源の創出と充実	
みんなで築くまち	地域コミュニティの充実	○
	協働によるまちづくりの推進	○
	広聴と情報発信の充実	
信頼に応える行政運営	適正な行財政運営の推進	
	組織経営と人事マネジメントの充実	

2 委員会開催経過

年月日	回	内容等
平成25年5月30日	第1回	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度の行政改革推進委員会のスケジュールについて 内部評価シートについて
平成25年7月2日	第2回	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価実施スケジュールについて ヒアリング及び評価の手法について 本年度評価を実施する8施策分のシート配布について

平成25年8月20日	第3回	<p>施策外部評価の実施（1） 「防災対策の推進」「交通安全の推進」「防犯対策の推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当課施策説明 ・事前質問に対する担当課回答 ・ヒアリング及び施策評価の協議
平成25年8月27日	第4回	<p>施策外部評価の実施（2） 「学校教育の充実」「地域福祉の推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当課施策説明 ・事前質問に対する担当課回答 ・ヒアリング及び施策評価の協議 <p>「防災対策の推進」「交通安全の推進」「防犯対策の推進」の外部評価まとめ作業</p>
平成25年9月24日	第5回	<p>施策外部評価の実施（3） 「子育て支援の充実」「地域コミュニティの充実」 「協働によるまちづくりの推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当課施策説明 ・事前質問に対する担当課回答 ・ヒアリング及び施策評価の協議 <p>「学校教育の充実」「地域福祉の推進」の外部評価まとめ作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政評価外部評価報告書（素案）について
平成25年10月1日	第6回	<p>施策外部評価の実施（4） 「子育て支援の充実」「地域コミュニティの充実」 「協働によるまちづくりの推進」の外部評価まとめ作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政評価外部評価報告書の策定協議
平成25年10月15日	第7回	<ul style="list-style-type: none"> ・行政評価外部報告書の策定協議（決定）
平成25年10月28日	第8回	<ul style="list-style-type: none"> ・市長へ行政評価外部報告書の提出

3 委員名簿

守谷市行政改革推進委員	区 分
須賀吉一	企業選出
齋藤芳崇	企業選出
川西憲二	公 募
柳橋吉男	公 募
大塚三郎	公 募
吉村秀清	公 募
鮎川勝正	公 募
鍵和田利男	公 募